



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年2月3日
上場取引所 東

上場会社名 神戸電鉄株式会社
コード番号 9046 URL <https://www.shintetsu.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井波 洋
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画部部長 (氏名) 坂本 義之 TEL 078-576-8671
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	16,569	0.5	2,020	12.1	1,715	16.9	1,230	6.9
2024年3月期第3四半期	16,492	3.7	1,802	15.7	1,467	18.2	1,151	17.2

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 1,264百万円 (△2.7%) 2024年3月期第3四半期 1,299百万円 (22.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	153.17	—
2024年3月期第3四半期	143.28	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	89,211	24,123	27.0
2024年3月期	90,451	22,942	25.4

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 24,123百万円 2024年3月期 22,942百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2025年3月期	—	0.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

配当予想の修正につきましては、本日公表の「2025年3月期 期末配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,060	△1.1	1,880	1.1	1,430	5.3	1,030	0.6	128.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期3Q	8,061,566株	2024年3月期	8,061,566株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	28,044株	2024年3月期	26,871株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期3Q	8,034,150株	2024年3月期3Q	8,035,442株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法について）

決算補足説明資料はTDnetで同日開示するとともに、当社ホームページにも掲載することとしています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、景気が緩やかに拡大しているものの、円安傾向や不安定な国際情勢によりエネルギー価格及び原材料価格が高止まりする状況で推移しました。

この間、当社グループにおいては、各部門において増収やコストの削減に努めた結果、当第3四半期連結累計期間の業績は次のとおりとなりました。

すなわち、営業収益は16,569百万円となり前年同期に比べ77百万円(0.5%)増加、営業利益は2,020百万円となり前年同期に比べ218百万円(12.1%)増加、経常利益は1,715百万円となり前年同期に比べ248百万円(16.9%)増加、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,230百万円となり前年同期に比べ79百万円(6.9%)増加しました。

当第3四半期連結累計期間のセグメント別の概況は次のとおりであります。

運 輸 業

鉄道事業においては、「安全の絶対確保」を図るため、安全管理体制のさらなる整備・充実に取り組んだほか、国や自治体からの補助を活用しながら、軌道の強化、法面の防災等の工事を推し進め、運転保安度の一層の向上に努めました。また、有馬温泉駅においては駅舎のリニューアル工事を、有馬口駅においてはホームへの階段をスロープにするバリアフリー化工事を進めております。

営業活動については、有馬温泉への旅客誘致を図るため、「有馬グルメ&湯けむりチケット」等の企画乗車券を発売したほか、沿線自治体や各種団体と連携した企画ハイキングを開催し、多数のお客様にご参加いただきました。

神戸市との連携事業である「神鉄沿線モヨウガエ」及び「KOBE Rail&Trail」では、地域との交流を通じた駅周辺の活性化や当社沿線の魅力発信に努めました。また、神戸電鉄栗生線活性化協議会と連携し、アーティストと沿線の子もたちが一緒に広告看板に描いた絵画を駅に掲出する「駅ナカ看板アートイベント」を木幡駅、志染駅、小野駅の3駅で実施しました。引き続き地域の皆様や沿線自治体と連携したプロジェクトを推進しながら鉄道の利用促進に取り組んでまいります。

なお、当社鉄道事業として29年ぶりとなる運賃改定(消費税率変更によるもの及び鉄道駅バリアフリー料金を除く)を2024年10月に国土交通省近畿運輸局長宛に認可申請を行い、12月に認可されました(実施日2025年1月19日)。

バス事業においては、企業や学校の貸切送迎業務をはじめ積極的な営業活動を展開し増収に努めるとともに、2024年10月より路線バスの運賃改定を実施いたしました。

タクシー業においては、配車アプリの活用や乗務員の採用に注力するなど、収益の拡大に努めました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の運輸業の営業収益は9,771百万円となり、前年同期に比べ147百万円(1.5%)減少し、営業利益は1,187百万円となり、前年同期に比べ135百万円(12.8%)増加しました。

不 動 産 業

土地建物賃貸業においては、2023年10月に取得した新規物件(大阪府茨木市)が収益に寄与したほか、当社が保有する賃貸物件へのテナント誘致及び新規物件の取得に努めるなど、収益の拡大を図りました。

また、神戸市及び神戸市道路公社から管理運営業務を受託している「神戸市立三宮駐車場(神戸市中央区)」他5施設について、円滑な運営に努めました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の不動産業の営業収益は1,469百万円となり、前年同期に比べ30百万円(2.0%)減少し、営業利益は681百万円となり、前年同期に比べ44百万円(6.9%)増加しました。

流 通 業

食品スーパー業においては、青果部門を中心とした生鮮部門の品揃えを強化するとともに、大創業祭やご当地フェア等の集客策を実施するなど、販売促進策を各店舗で積極的に展開しました。

また、移動スーパー「とくし丸」については、現在1号車から3号車まで運行しご好評をいただいていることから、2024年7月から新たに4号車の運行を開始し、引き続き顧客開拓を精力的に行うなど、収益の拡大に努めました。

コンビニ業及び飲食業においては、各店舗で販売促進策を実施するなど増収に努めました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の流通業の営業収益は4,057百万円となり、前年同期に比べ127百万円(3.2%)増加し、営業利益は98百万円となり、前年同期に比べ30百万円(44.1%)増加しました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、有形固定資産が減少したこと等により前連結会計年度末に比べ1,240百万円減少の89,211百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の負債は、買掛金及び借入金が減少したこと等により前連結会計年度末に比べ2,421百万円減少の65,087百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴い、利益剰余金が増加したこと等により前連結会計年度末に比べ1,181百万円増加の24,123百万円となり、自己資本比率は27.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、鉄道事業や貸切バス事業が計画よりも堅調に推移したことなどから、2024年5月13日に公表いたしました業績予想を変更しております。

なお、セグメント別営業収益及び営業利益の増減につきましては、本日開示しております「2025年3月期 第3四半期決算補足説明資料」をご覧ください。

2025年3月期の通期連結業績予想

(単位：百万円、単位未満切捨て)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
今回発表予想	22,060	1,880	1,430	1,030
前回発表予想	21,640	1,750	1,240	900
増減額	420	130	190	130
増減率 (%)	1.9	7.4	15.3	14.4

なお、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果になる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,468	1,671
売掛金	1,333	1,393
短期貸付金	87	38
販売土地及び建物	230	230
商品	110	125
貯蔵品	447	545
その他	1,621	719
流動資産合計	5,299	4,724
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	39,807	38,931
機械装置及び運搬具(純額)	4,832	4,499
土地	35,019	35,258
建設仮勘定	106	353
その他(純額)	498	446
有形固定資産合計	80,264	79,489
無形固定資産		
その他	688	608
無形固定資産合計	688	608
投資その他の資産		
投資有価証券	1,579	1,686
長期貸付金	195	177
退職給付に係る資産	2,030	2,090
その他	409	452
貸倒引当金	△17	△17
投資その他の資産合計	4,197	4,389
固定資産合計	85,151	84,487
資産合計	90,451	89,211
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,446	1,130
短期借入金	17,803	16,568
未払法人税等	174	365
前受金	794	325
賞与引当金	53	19
その他	2,953	3,072
流動負債合計	24,226	21,481
固定負債		
長期借入金	37,079	37,543
繰延税金負債	593	713
再評価に係る繰延税金負債	3,461	3,461
退職給付に係る負債	105	96
長期末払金	539	362
長期預り保証金	927	910
その他	575	517
固定負債合計	43,282	43,605
負債合計	67,508	65,087

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,710	11,710
利益剰余金	8,697	9,848
自己株式	△95	△98
株主資本合計	20,313	21,460
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	642	715
繰延ヘッジ損益	0	0
土地再評価差額金	1,480	1,480
退職給付に係る調整累計額	506	467
その他の包括利益累計額合計	2,629	2,662
純資産合計	22,942	24,123
負債純資産合計	90,451	89,211

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
営業収益	16,492	16,569
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	12,765	12,621
販売費及び一般管理費	1,924	1,927
営業費合計	14,690	14,548
営業利益	1,802	2,020
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	34	38
有価証券売却益	6	36
物品売却益	3	42
雑収入	69	54
営業外収益合計	113	172
営業外費用		
支払利息	425	448
雑支出	23	28
営業外費用合計	448	477
経常利益	1,467	1,715
特別利益		
固定資産交換差益	—	425
工事負担金等受入額	122	116
特別利益合計	122	541
特別損失		
工事負担金等圧縮額	122	541
特別損失合計	122	541
税金等調整前四半期純利益	1,467	1,715
法人税、住民税及び事業税	204	373
法人税等調整額	111	111
法人税等合計	315	485
四半期純利益	1,151	1,230
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,151	1,230

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	1,151	1,230
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	160	72
繰延ヘッジ損益	△0	△0
退職給付に係る調整額	△13	△39
その他の包括利益合計	147	33
四半期包括利益	1,299	1,264
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,299	1,264
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	1,705百万円	1,648百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	運輸業	不動産業	流通業	計				
営業収益								
(1) 外部顧客への営業収益	9,904	1,362	3,921	15,189	1,303	16,492	—	16,492
(2) セグメント間の内部営業収益又は振替高	13	136	9	159	751	910	△910	—
計	9,918	1,499	3,930	15,348	2,054	17,403	△910	16,492
セグメント利益	1,052	637	68	1,759	22	1,781	20	1,802

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保育事業及び健康事業並びに建設業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額20百万円は、主にセグメント間取引であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	運輸業	不動産業	流通業	計				
営業収益								
(1) 外部顧客への営業収益	9,758	1,330	4,048	15,138	1,431	16,569	—	16,569
(2) セグメント間の内部営業収益又は振替高	13	138	8	161	808	969	△969	—
計	9,771	1,469	4,057	15,299	2,239	17,539	△969	16,569
セグメント利益	1,187	681	98	1,966	38	2,005	15	2,020

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保育事業及び健康事業並びに建設業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額15百万円は、主にセグメント間取引であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。